

高精度自由形状内面研削盤 SFG-35P 新規開発について

この度弊社では、高精度自由形状内面研削盤である SFG シリーズのエントリーモデル「SFG-35P」を開発し、2021年9月より販売を開始いたしました。

SFG-35P は、エントリー機でありながら、上位モデルと同様の高剛性構造であり、高精度な複合加工にも対応しているコストパフォーマンスを高めた新機種です。

特徴については以下の通りです。

1. ワンチャッキングにて工程集約

加工室内は、高精度な旋盤機能と研削機能を備えており、粗加工から最終仕上げまでをワンチャッキングで行うことが可能です。更に、機内測定を行う事でワークを着脱せずに寸法公差内迄、加工を継続的に行う事が出来ます。これは冷間鍛造金型など丸物金型製作において、大幅な加工時間の短縮と品質の向上が可能となります。

2. 対話式プログラムで簡単操作

専用画面を用いた対話式プログラムにより、スマートフォン感覚でオペレータをサポートする SFG 専用「Smart NC」を搭載しており、簡単に加工プログラム等の作成作業が出来ます。情報を入力する毎にリアルタイムで形状が表示される為、工具の干渉チェックを行うと共に入力ミスも未然に防止できます。その他、DXF データからプログラムを自動的に作成する機能（特許出願中）やメンテナンス情報を管理し、警告表示する機能も搭載しています。

3. 高い形状精度を実現

端面、R 形状、テーパ、ストレートなどの連続的な形状を内径、及び外径共に一筆書きで加工が可能です。また、最大把握ワークサイズはΦ150mm×L150mm、最大加工長さは 100mm であり、従来の SFG-35 シリーズと同等で且つ高精度な加工が可能です。

本製品は「メカトロテックジャパン 2021 ポートメッセなごや」へ出展する予定です。従来機とは外観が異なりますので、実機にてご高覧賜りますようお願いいたします。

■装置外観紹介



■問い合わせ先

西部電機株式会社 精密機械事業部

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

TEL (092)-941-1509 FAX(092)-941-1521

E-mail h-info@seibudenki.co.jp

以上